

## 「センサー地学」の訂正について

本書には次のところに誤りがございます。深くお詫び申し上げますと共に、下記のように訂正の上、ご使用いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

(株)新興出版社啓林館編集部

ページ	箇 所	誤	正
104	63 イ	内湾の	潟の
109	71(2)	走向が南北で、	(削除)
141	94 図 凡例	石灰層	石炭層
193	7	約 368 日 (脚注答) ②海王星	約 780 日 (脚注答) ②火星
193	答 6	①水星 ②金星	①②水星、金星 (順不同)
194	答 9(4)	小さい	小さ
196	例題 31(4)	火星を観測できるのは	火星を最も大きく観測できるのは
208	137 表	21.0 78.1  (解答編 p.71 137) ⑦窒素 ⑧酸素	78.1 21.0  (解答編 p.71 137) ⑦酸素 ⑧窒素
220	E	白色惑星は	白色矮星は
249	170	(1) (2)銀河系(われわれの銀河)は A～D のどのタイプの銀河か。  (解答編 p.86 164(3)) (1) (2)D	(削除) (削除)  (解答編 p.86 164(3)) (削除) (削除)

## 別冊解答編

42	85(4)	①, ⑥, ⑧	①, ⑤, ⑧
53	104	$(2 \times 10^7) \div (9 \times 10^4) \approx 11$ [日]	$(2 \times 10^7) \div 20 \div (9 \times 10^4) = 11.1 \dots \approx 10$ [日]
68	132(4)	$8 \times 10^{24}[\text{m}] = 0.8 \times 10^{25}[\text{m}]$	$8 \times 10^{24}[\text{m}^3] = 0.8 \times 10^{25}[\text{m}^3]$
84	164(3)	$r_A, r_B$ とすると, $m_A \times r_A = m_B \times r_B$ $r_A = 32 \times 1 \div 3 \approx 10.7$ $r_B = 32 \times 2 \div 3 \approx 21.3$	$a_A, a_B$ とすると, $m_A \times a_A = m_B \times a_B$ $m_A = 32 \times 1 \div 3 \approx 10.7$ $m_B = 32 \times 2 \div 3 \approx 21.3$
92	185(2)	$m = \rho = \frac{4}{3}\pi r^2$	$m = \rho \times \frac{4}{3}\pi r^3$
93	186(4)	$a^3 = \left(\frac{224.7}{365.2}\right) \approx 0.379$	$a^3 = \left(\frac{224.7}{365.2}\right)^2 \approx 0.379$

B-ア'